



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 天昇電気工業株式会社
 コード番号 6776 URL <https://www.tensho-plastic.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石川 忠彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理統括 (氏名) 沼口 和成

TEL 042-788-1880

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,541	2.6	962	5.3	938	3.8	632	17.8
29年3月期第3四半期	11,248	2.1	913	95.9	976	143.7	537	57.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 647百万円 (17.2%) 29年3月期第3四半期 552百万円 (127.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	38.14	
29年3月期第3四半期	32.40	32.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	15,262	5,148	33.7	310.24
29年3月期	15,119	4,551	30.1	274.23

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,148百万円 29年3月期 4,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		3.00	3.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	4.1	1,080	15.6	1,050	17.4	720	25.3	43.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料 P8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	17,014,000 株	29年3月期	17,014,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	417,836 株	29年3月期	417,501 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	16,596,239 株	29年3月期3Q	16,586,965 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P8
(セグメント情報等)	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策などにより企業収益や雇用情勢の改善が続く中、欧米を初めとする海外景気の堅調さにも下支えを受け、穏やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは引き続き売上高拡大に向け営業強化を図り、既存顧客への更なる深耕、新規顧客の開拓、新技術・新製品の開発強化を図ってまいりました結果、売上高は115億41百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。損益面におきましては、生産性向上のための積極的な設備更新や工程改善、省力化の推進及び原材料効率化等の原価低減効果により、営業利益は9億62百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。営業外収益に為替差益、営業外費用に支払利息を計上したこと等により、経常利益は9億38百万円（前年同四半期比3.8%減）、特別利益に国庫補助金、特別損失に固定資産圧縮損を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億32百万円（前年同四半期比17.8%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

日本成形関連事業

自動車部品につきましては、当第3四半期連結累計期間において新型車の量産開始も順調に推移し売上高は好調に推移いたしました。自社商品群であります物流産業資材や雨水貯留浸透漕製品は前年同期比若干減少したものの堅調に推移いたしました。この結果、売上高は110億15百万円（前年同四半期比3.0%増）、セグメント利益は7億31百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。

中国成形関連事業

中国国内では、物流産業資材及び機構品部品の売上拡大に努めているものの引き続き厳しい状況が続いております。売上高は2億39百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。工場経費を中心とした徹底的な原価削減を進め、セグメント利益は8百万円（前年同四半期は28百万円の損失）となりました。

不動産関連事業

相模原市、伊賀市、伊那市所在の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されております。売上高は2億86百万円（前年同四半期は3億16百万円）、セグメント利益は2億22百万円（前年同四半期比10.1%減）となりました。

なお、第2四半期連結会計期間において伊賀市の不動産賃貸用土地建物を売却しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、152億62百万円（前連結会計年度末比1億43百万円増）となりました。

流動資産は、現金及び預金35億52百万円（前連結会計年度末比7億1百万円増）、受取手形及び売掛金が25億14百万円（前連結会計年度末比1億94百万円減）等により82億9百万円（前連結会計年度末比5億15百万円増）となりました。

固定資産は、生産設備投資、減価償却実施及び土地・建物の売却等により70億53百万円（前連結会計年度末比3億72百万円減）となりました。

負債合計は、101億13百万円（前連結会計年度末比4億54百万円減）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金17億57百万円（前連結会計年度末比23億3百万円減）、電子記録債務21億11百万円（前連結会計年度末比21億11百万円増）、短期借入金7億円（前連結会計年度末比7億円増）等により69億23百万円（前連結会計年度末比4億44百万円増）となりました。

固定負債は、長期借入金23億82百万円（前連結会計年度末比9億2百万円減）等により31億89百万円（前連結会計年度末比8億99百万円減）となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、51億48百万円（前連結会計年度末比5億97百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第3四半期(累計)では、引き続き生産設備の改善・更新による生産性の向上、工程改善、原材料効率化等の効果により営業利益以下堅調に推移しております。

平成30年3月期第3四半期(累計)までの実績を加味し、平成29年11月7日に公表しました通期連結業績予想を上方修正いたします。

平成30年3月期の連結業績予想

売上高	16,000百万円
営業利益	1,080百万円
経常利益	1,050百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	720百万円

なお、詳細につきましては、本日開示いたしました「平成30年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,850	3,552
受取手形及び売掛金	2,709	2,514
電子記録債権	937	1,014
製品	313	277
原材料	432	416
仕掛品	46	56
短期貸付金	72	56
その他	330	320
流動資産合計	7,693	8,209
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,127	1,748
土地	2,610	2,307
その他(純額)	1,516	1,855
有形固定資産合計	6,254	5,912
無形固定資産	99	83
投資その他の資産		
投資有価証券	786	806
その他	309	275
貸倒引当金	△25	△24
投資その他の資産合計	1,071	1,057
固定資産合計	7,425	7,053
資産合計	15,119	15,262
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,061	1,757
電子記録債務	—	2,111
短期借入金	—	700
1年内返済予定の長期借入金	1,078	922
未払法人税等	207	203
賞与引当金	191	94
その他	939	1,134
流動負債合計	6,478	6,923
固定負債		
長期借入金	3,284	2,382
資産除去債務	32	20
その他	771	786
固定負債合計	4,088	3,189
負債合計	10,567	10,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	2,366	2,949
自己株式	△42	△42
株主資本合計	4,430	5,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111	139
為替換算調整勘定	9	△4
その他の包括利益累計額合計	121	135
純資産合計	4,551	5,148
負債純資産合計	15,119	15,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	11,248	11,541
売上原価	8,734	8,947
売上総利益	2,514	2,593
販売費及び一般管理費	1,600	1,631
営業利益	913	962
営業外収益		
受取利息	3	8
受取配当金	6	7
為替差益	129	25
その他	13	11
営業外収益合計	153	53
営業外費用		
支払利息	74	57
持分法による投資損失	14	4
その他	1	14
営業外費用合計	90	76
経常利益	976	938
特別利益		
固定資産売却益	4	14
新株予約権戻入益	4	—
国庫補助金	—	103
特別利益合計	8	117
特別損失		
固定資産売却損	—	12
固定資産除却損	3	14
投資有価証券売却損	175	—
固定資産圧縮損	—	96
特別損失合計	178	122
税金等調整前四半期純利益	806	933
法人税等	269	300
四半期純利益	537	632
親会社株主に帰属する四半期純利益	537	632

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	537	632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130	28
繰延ヘッジ損益	3	—
為替換算調整勘定	△35	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△83	△16
その他の包括利益合計	15	14
四半期包括利益	552	647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	552	647
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	10,696	235	316	11,248	—	11,248
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	10	—	10	△10	—
計	10,696	246	316	11,259	△10	11,248
セグメント利益又は損失(△)	694	△28	247	913	—	913

(注) 1 セグメントの調整額は、セグメント間取引消去10百万円であります。

2 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	11,015	239	286	11,541	—	11,541
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	17	—	17	△17	—
計	11,015	257	286	11,558	△17	11,541
セグメント利益	731	8	222	962	—	962

(注) 1 セグメントの調整額は、セグメント間取引消去17百万円であります。

2 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

不動産関連事業の報告セグメント資産の金額が前連結会計年度末に比べ6億50百万円減少しております。これは主に、第2四半期連結会計期間において、伊賀市の不動産賃貸用土地建物を売却したことによる減少であります。